



はじめに

我が国の高齢化は急速に進行しており、本市におきましても、65歳以上の人口は16万人を超え、高齢化率は、およそ28%と非常に高くなっており
ます。

一方で、我が国は世界有数の長寿国であり、また、就業や社会参加への
意欲を持ち続ける高齢者も多いことから、高齢期を迎えても、社会に参画
し、住み慣れた地域で自分らしく生活することができる地域社会づくりが
強く求められております。

このような中、国においては、医療や介護、介護予防、住まい、日常生
活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの実現に取り組むと
ともに、令和元年には「認知症施策推進大綱」を策定し、認知症の発症を
遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会の構築を
目指すこととしております。

本市におきましても、「第7期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計
画」のもと、地域包括支援センターの機能強化や成年後見センターの設置
など、各種施策を着実に推進してまいりました。

そして、近年頻発する自然災害や新型コロナウイルス等の感染症への対
応をはじめ、認知症対策、介護予防等のさらなる充実などを盛り込み、こ
の度、令和3年度から5年度までの3年間を計画期間とする第8期計画を
策定いたしました。

今後におきましては、人生100年時代を見据え、国、県をはじめ、関係の
方々との緊密な連携のもと、この計画を着実に推進し、誰もが活力に満ち、
明るく生き生きと暮らすことができるまちづくりを進めてまいりますので、
皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました鹿児島市高
齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会の皆様をはじめ、
アンケート調査やパブリックコメント手続を通じて貴重なご意見・ご協力
を賜りました市民の皆様、並びに関係各位に心より感謝申し上げます。

令和3年3月

鹿児島市長 下 鶴 隆 央